

日本子ども家庭福祉学会通信

第31号

2015年3月発行

Japanese Society of Child and Family Welfare

No.31

第16回 日本子ども家庭福祉学会 全国大会開催のお知らせ

テーマ：子ども家庭相談体制の再構築と
人材育成に向けて
—児童相談所，市町村，地域の連携と協力—

大会長 芝野松次郎
(関西学院大学教授)

会員の皆様には益々ご清祥御のこととお慶び申し上げます。

すでに学会ホームページにて公表しております第16回大会案内の第二報をお知らせいたします。

日本子ども家庭福祉学会全国大会は、1999年の設立以来、今年の全国大会で16回目を迎えることとなります。今回は、大会テーマを「子ども家庭相談体制の再構築と人材育成に向けて—児童相談所，市町村，地域の連携と協力—」と題して、子ども家庭福祉学の立場から、すべての子どもとその家族に対する相談支援サービスを、児童相談所と市町村，民間機関，地域等が一体となって提供できる体制の構築について、又そのために必要な人材の育成，専門性の確保等について検討することを趣旨とした全国大会を企画いたしました。

大会第1日目は、子ども家庭相談に関する行政官，研究者によるシンポジウムといたしました。近年，子ども・子育て支援法の制定や児童福祉法，児童虐待防止法，民法等の改正が行われる等，子ども家庭への支

援体制や地域における子育て支援の枠組みや方向性大きく変化しています。このような動きの中で，子ども家庭を直接的に支援する子ども家庭相談の役割が益々重要となってきています。このような状況にも関わらず，児童相談所や市町村の相談窓口等の体制は脆弱で，ニーズに十分に対応しきれていないのが実情です。効果的な相談支援の実施には，公民の役割分担が必要とされていながらも，未だに全体像が確立できていない状況にあります。

このような状況を踏まえ，シンポジストには，厚生労働省雇用均等児童家庭局虐待防止対策室長の川鍋慎一氏を迎え，「児童虐待防止対策のあり方に関する専門委員会」での児童相談所の体制強化等の項目についての方向性についてご報告いただきます。また，日本女子大学教授林浩康氏，関東学院大学准教授澁谷昌史氏からは，国の報告書の検証，海外諸国の子ども家庭相談における取組み等を交え，今後の体制の再構築と人材育成に向けての議論を深めていただく企画をご用意しております。子ども家庭相談体制の構築は，社会的養護のみならず，すべての子どもと家庭を支える根幹となる重要な課題でありますので，多くの会員の方の積極的なご参加をお待ちしております。

また，大会第2日目には，例年どおり各分科会における自由研究発表を行います。こちらも，「子ども家庭相談体制の再構築と人材の育成に向けた児童相談所，市町村，地域の連携と協力」につながる，多くの学会員によるご発表が期待されます。

以上のような，第16回全国大会にふさわしい企画をご用意いたしました。多くの皆さまのご参加，ご発表を心よりお待ちしております。

記

1. 日時：2015年6月6日(土)～7日(日)
2. 会場：関西学院大学G号館(兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155)
3. 大会テーマ：子ども家庭相談体制の再構築と人材育成に向けて
一児童相談所、市町村、地域の連携と協力
4. 大会スケジュール(予定)
- 第1日目 6月6日(土)
- 12:30- 受付開始
- 13:40-14:00 開会
- 14:00-17:10 第16回大会シンポジウム(関西学院大学 G号館 201教室)

14:00-17:10 第16回大会シンポジウム(公開)

テーマ：『子ども家庭相談体制の再構築と人材育成に向けて』
一児童相談所、市町村、地域の連携と協力

コーディネーター 関西学院大学 教授
芝野松次郎

シンポジスト 厚生労働省雇用均等
児童家庭局総務課
待防止対策室 室長
川鍋 慎一氏
日本女子大学 教授
林 浩康氏
関東学院大学 准教授
渋谷 昌史氏

17:30-19:00 懇親会(関学会館 風の間)

- 第2日目 6月7日(日)
- 8:40- 受付
- 9:00-12:00 分科会「自由研究発表」(関西学院大学 G号館 教室)
- 12:00-13:00 総会

13:00-16:00 分科会「自由研究発表」(関西学院大学 G号館 教室)

5. 参加費

	大会参加費		懇親会費	
	事前入金 (5/11 まで)	当日支払い	事前入金 (5/11 まで)	当日支払い
会員	4,000 円	5,000 円	6,000 円	6,000 円
非会員	5,000 円	6,000 円	6,000 円	6,000 円
大学院生	4,000 円	5,000 円	6,000 円	6,000 円
学部生	無料(学生証提示)		3,000 円	3,000 円

※シンポジウムのみ的一般参加については、当日1,000円で受付します。

6. 学会参加申込方法

- ・大会参加のお申し込みは、別紙1の大会参加申込み用紙にてファックスまたはメールでお申し込み下さい。
- ・事前入金は、(参加申込みを行った後)5月11日(月)までにお振り込みください。5月11日(月)までのお振り込みが確認されない場合は、当日申し込み扱いといたします。振り込み先は下記の通りです。
- ・振り込み手数料は、ご負担願います。また参加費および懇親会費を振り込まれた後は、返金できません。ご請求書の発行は、原則いたしませんのでご了承ください。

【振り込み先】

〈ゆうちょ銀行・郵便局からのお振込の場合〉

口座記号番号 【記号番号】 00960-1-330881
加入者名 日本子ども家庭福祉学会第16回
全国大会実行委員会

〈他金融機関からのお振込の場合〉

銀行名 ゆうちょ銀行
【店名】 関西学院前 【店番】 099
【預金種目】 当座預金 【口座番号】 0330881
加入者名 日本子ども家庭福祉学会第16回
全国大会実行委員会

7. 自由研究発表申込方法

自由研究発表を希望される方は、次ページの「自由研究発表を希望される方へ」をご覧くださいお申し込み下さい。

8. その他

大会参加申し込みは3月1日(日)から受け付けております。

昼食は、各自でご準備ください。なお、大学近隣にコンビニや飲食店もございます。

以上

〈大会事務局〉

大会長：芝野 松次郎

大会本部事務局：前橋 信和(事務局長)

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学 人間福祉学部

〈お問合せ・お申込み先〉

受付事務局：株式会社アイディ

〒160-0005 東京都新宿区愛住町22

第3山田ビル6F

Fax: 0798-54-6693

e-mail: info@jscfw2015.com

ホームページ: <http://jscfw2015.com>

【ご案内】自由研究発表を 希望される方へ

第16回大会の2日目(6月7日)には、「自由研究発表」を設けます。

以下の手続きをご確認の上、お申し込みください。

(1) 申し込み方法・期限

自由研究発表を希望される方は、4月13日(月)迄に登録サイト(<http://jscfw2015.com>)からお申込み下さい。

(2) お申し込みについて

- ・発表者は会員に限ります
- ・自由研究発表のタイトル、発表者のお名前は会報等により学会員に事前にお知らせしますので正確にご記入ください。
- ・一連発表は2題までとします。
- ・登録サイトにアクセスし、必須項目に漏れがないように記載しお申し込みください。

(3) 抄録原稿について

申し込み終了後、5月11日(月)までに登録サイトより添付ファイルにて送信してください。

※申し込みと同時に抄録原稿を送信していただいてもかまいません。

①書式

- ・A4版2枚に収めてください。
- ・余白を上下左右2.5cm、横書き2段組で作成してください。
- ・フォントサイズ、文字数、行数、行間の規定はありませんが、巻末の見本を目安にお願いいたします。
- ・原稿はそのまま印刷いたしますので、MS-Wordでの作成原稿と、それをPDFにした原稿の2種類を添付し送信してください。

②原稿記述における注意事項

- ・巻末の見本を参考に、テーマ、発表者全員の氏名・所属・会員番号(代表発表者には○を付ける)、キーワード3つを「上部枠内」に明記してください。
 - ・本文の項目は、「[研究目的、研究の視点及び方法、倫理的配慮、研究結果、考察]」の5つにしてください。
 - ・事例等の記述にあたっては、プライバシーの保護、関係者の承諾等、本学会が準じている日本社会福祉学会の研究倫理指針(<http://www.jssw.jp/disclosure/pdf/ethics.pdf>)に従ってください。
 - ・人名、地名、職場名、学校名等の固有名詞は使用せず、A県、B市、Cさん、D施設等と表記し実際のイニシャルは使用しないでください。
 - ・調査を伴わない文献研究の場合でも、倫理的配慮の項目に、配慮の内容(日本社会福祉学会の研究倫理指針に基づき配慮したこと)を記載してください。
- 記載が不十分な場合や記述がない場合は、採択されないことがあります。

(4) 当日の発表について

①日程と持ち時間

- ・発表時間と会場(教室)については後日お知らせいたします。
- ・お一人の持ち時間は40分(発表20分、質疑20分)を予定しています。

②資料配布

- ・配布資料は30部程度ご持参ください。(会場が決まりましたら教室の収容人数をお知らせします。)

平成26年度 第2回 理事会報告

平成26年11月30日(日)、平成26年度第2回理事会が早稲田大学にて開催されました。議題と決定の内容は以下の通りです。

1. 入会審査の件

これまでは、入会に際して会員2名の推薦人を必須としてきました。また、推薦人を2名確保できない場合は、履歴書の提出を求めた上で非会員であっても入会希望者の所属長や職責関係者からの推薦をお願いし、その後理事による承認という手続きを経ておりました(2008年理事会による申し合わせ)。今回、会員以外の推薦人を見つけることが難しいとする入会希望者からの問い合わせがあり、その場合は、事務局に相談後に会長及び副会長の判断にて入会の可否を決定することとなりました。

また、入会の承認については、現行の理事による随時承認から、年2回の理事会においての承認という形式に変更することになりました。

2. 学会紀要執筆要項の件

近年、質的研究方法の進展により、投稿論文においても質的分析によるものが増えてきています。査読のプロセスにおいて加筆修正指示があった場合、字数制限16,000字を順守することが困難なケースが出てきていることから、次号(15号)の論文募集より、字数制限を20,000字(1,600字×12.5枚)以内とすることが承認されました。

3. 学会通信のホームページ掲載に伴う個別郵送の廃止について

現在、メーリングリストの登録者に対して、学会通信の発行についてメーリングリストでの周知を行っています。未登録者(約60名)に対しては、国際文献

社より個別に郵送を行っていますが、次年度より個別郵送を廃止する方向で、メーリングリストへの登録の周知徹底をさらに図ることに努めることになりました。今回の31号が郵送で届いた会員様は、現在メールアドレスが登録されていない、もしくは登録しているが、そのアドレスがエラーになっております。

お手数ですが、下記の事務担当までメールをお送りくださいますよう、お願いいたします。メーリングリストに登録いたします。

<メールの送付先>

日本子ども家庭福祉学会 事務担当
jscfw-post@bunken.co.jp

お名前、会員番号、メールアドレス登録希望とお書きください。

学会通信は今後、HPにも掲載するべく準備を進めております。

4. 特別企画の件

今後、学会として全国大会の他に特別企画の実施を定期的に検討していくことになり、次回理事会(2015年6月)において、特別企画に関する体制づくりについて話し合うことになりました。

特別企画は、通常の全国大会ではあまり取り上げることがない国際的な視点からの子ども家庭福祉に関する情報や動向、子ども家庭福祉の臨床、実践の現場における現代的課題の共有を図れるテーマ等を取り上げる検討をしていく予定です。

2015年度の詳細につきましては、米国の国際ナショナル・フォスターケア・アライアンス(International Foster Care Alliance: IFCA)の協力を得まして、里親ケアに関する講演会を検討中です。IFCAは、日米の社会的養護ケアを受ける子どもたち自身、養育援助者、専門職・研究者が協力しあひながら、子どもたちの状況の改善や政策提言を行うことを目的とした団体です(<http://www.ifcaseattle.org/jp/>)。企画の内容につきましては、今後の検討となります。詳細につきましては、メーリングリストのご案内になりますので、よろしくお願いたします。

入退会者

2014年10月1日～2015年2月28日までの新入会員

加藤 あゆみ	東京家政大学大学院
南野 奈津子	昭和女子大学
浅田 明日香	愛知県立大学
久松 尚美	宮崎学園短期大学
元山 彩織	立命館大学大学院

2014年10月1日～2015年2月28日までの退会者
逝去

大島 道子
鈴木 力

退会

才村 眞理
今井 豊彦
佐保 美奈子
草野 篤子

【前号掲載のお詫び】

芝野 松次郎様の退会は間違いでした。

お詫びして訂正いたします。

会費の振込先について会費の振込がまだの方は、以下までお振込をよろしく
お願い致します。郵便局 00160-5-551365 「日本子ども家庭福祉学会」
他金融機関からのお振込の場合は、「ゆうちょ銀行
〇一九店(019) 当座 0551365」にお振込ください。

正会員 6,000円

法人会員 10,000円

会費の納入状況は「マイページ」でご確認いただけま
す。<https://www.bunken.org/jscfw/mypage/>*ご利用には会員番号とパスワードが必要です。パス
ワードのお問い合わせは
メールでお願いいたします。**〈編集後記〉**

- ・内容に関してご意見等がございましたら、メールに
てよろしくお願ひいたします。
- ・学会費のお振り込みがお済みでない方は、速やかに
お振り込みをお願いいたします。
- ・学会の入会承認が年2回になりましたので、全国大
会での発表をお考えの方々はご注意ください。
- ・理事会報告でもお知らせ致しましたが、学会通信の
個別郵送を中止することになりましたので、メー
リングリストへの登録をお済みでない会員の方々
は、登録をお願い致します。

第31号より学会通信の編集を担当することになり、改めて近年の子ども家庭福祉をめぐる様々な動向について考えてみました。日本子ども家庭福祉学会は、設立から16年目を迎えようとしています。昨年の第15回全国大会では、本学会の設立に大きく関わった3氏によって「子ども家庭福祉」とは何かについて議論がなされました。「子ども家庭福祉」とは単なるfield(フィールド)であるのか、それともdiscipline(原理)を伴ったものであるのかという問いかけがなされました。他の社会福祉学とは異なる「子ども家庭福祉学」として固有の概念を提示することが出来るのだろうか、またそれが何であるのかを追究する研究の必要性が強調されました。「養護」、「保護」、「養育」、「育成」、「保育」、「教育」、「支援」、「予防」等、子どもの育ちに関わる行為・営みを説明する数多くの用語がありますが、その一つひとつについて、今一度、定義を精査する試みを通して、子ども家庭福祉学会の活動を充実させていく重要性を感じています。

(Y)

日本子ども家庭福祉学会通信 第31号

発行日 2015年3月25日
 発行人 網野 武博
 編集人 山本 真実
 発行 日本子ども家庭福祉学会事務局
 〒162-0801
 東京都新宿区山吹町358-5
 アカデミーセンター
 Tel: 03-5937-5716 Fax: 03-3368-2822
 e-mail jscfw-post@bunken.co.jp